



JAPANESE JOURNAL OF MATHEMATICS

JJMは2005年の存続の危機を乗り越え、継続して出版されることになりました。2006年より3rd Seriesを創刊、最高レベルのサーベイを出版する国際学術誌(年2回発行)として生まれ変わりました。

10周年を迎えた2015年、トムソン・ロイター社はインパクト・ファクター(2014)でJJMが世界の数学の対象ジャーナル全310誌の中で21位と発表しました。

JJMのインパクトファクター : 1.444

Editors

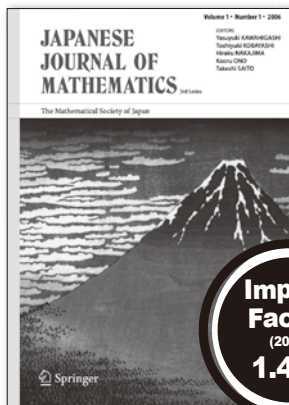
小野 薫 (京都大学数理解析研究所)

河東泰之 (東京大学)

小林俊行 (東京大学/Kavli IPMU)

斎藤 毅 (東京大学)

中島 啓 (京都大学数理解析研究所)



最新号(2015年第10巻2号)を紹介します。

C. マノレスキュ (高木レクチャー)

『フレアー理論とトポロジーへの応用』

Abstract 3次元多様体に対する Floer ホモロジーのいくつかについて概観を与える。また、それらの応用、特に手術、ホモロジーコボルディズムや境界付き4次元多様体に関する問題について議論する。更に、Floer 安定ホモトピー型、それに関わる Pin - 同変 Seiberg-Witten Floer ホモロジーとその3角形分割の予想への応用について述べる。

M. ゴレリック, V.G. カッツ

『アフィン超リー代数の(相対)可積分モジュールのキャラクター』

Abstract この論文では、有限次元基本超リー代数およびアフィン超リー代数 \mathfrak{g} の上の相対的可積分既約最高ウェイトモジュール L のキャラクターを計算する問題を考える。この問題は二つの部分からなる。第一には \mathfrak{g} モジュール $F(L)$ の問題への帰着である。ここで \mathfrak{g} は L に付随した可積分超リー代数で、 $F(L)$ は可積分既約最高ウェイト \mathfrak{g} モジュールである。第一の部分については一般的予想があり、多くの場合のそれを確認する。第二の部分については KW 条件が成り立つ場合について多くのケースについて KW キャラクター公式を証明する。これには、 \mathfrak{g} が基本的な場合のほとんどすべての有限次元 \mathfrak{g} モジュールと、 \mathfrak{g} がアフィンで双対コクセター数が 0 でないときのすべての極大非典型非臨界的可積分 \mathfrak{g} モジュールを含む。

L. イリュジー

『ピエール・ドリーニュの秘密の花園のながめ:いくつかの手紙から』

Abstract ドリーニュの未公開の手紙4通(ホッジ理論について1通、 ℓ 進層のオイラー・ポワンカレ標数と分岐について2通、因子の一般化について1通)を紹介し、それらがもたらした進展にもふれる。

図書委員の先生方へ:新規購読をおすすめします。

【連絡先】〒110-0016 東京都台東区台東1-34-8 一般社団法人 日本数学会 Fax: 03-3835-3485
年2回発行 ISSN: 0289-2316 (冊子版) ISSN: 1861-3624 (電子版) 年間購読料 ¥25,000 + 税 / EUR198.00

彌永昌吉先生が100歳で発表された書き下ろしや、アーノルド等の特別寄稿を掲載した創刊号から、スマイルやリオンス(2-1号)、コンツェピッチ(4-1号)、コンヌ(6-1号)の書き下ろしを掲載した各号、最新号も冊子単位で購入できます。会員割引 ¥7500+税/冊子 もあります。

広く一般の会員の皆様からのご投稿をお待ちしております。



一般社団法人 日本数学会

投稿規定は <http://www.springer.jp/JJM/>